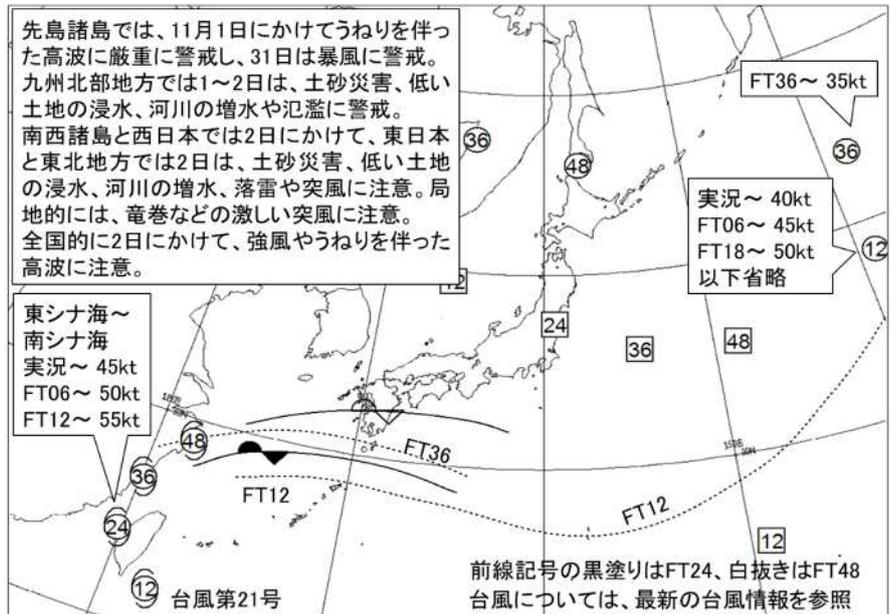


1. 実況上の着目点

- ① 非常に強い台風第21号が、沖縄の南を北西進。台風周辺の下層暖湿気の影響で、沖縄の南では雷を検知し、海上では1時間におよそ30mmの激しい雨を解析。また、強い風が吹き、台風からのうねりも加わって波が高くなり、大しけとなっている所がある。
- ② 前線が東シナ海～日本の南にのびる。前線に向かい台風周辺の下層暖湿気が流入し、奄美地方周辺では雷を検知し、激しい雨を解析。また、西～東日本の太平洋側では気圧の傾きが



主要じょう乱解説図

大きくなっており、やや強い風が吹き、波が高くなっている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 台風第21号は、沖縄の南を北西進、台湾の地形の影響を受け衰弱し、31日夜には台湾海峡に進む。11月1日は台湾海峡～東シナ海を北～北東進、2日に東シナ海で温帯低気圧化する。南西諸島では、台風周辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。また、強い風や非常に強い風が吹き、うねりを伴い大しけとなり、先島諸島では猛烈なしけとなる所がある。先島諸島では31日は暴風に警戒し、1日にかけて高波に厳重に警戒。南西諸島では2日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、強風やうねりを伴った高波、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の前線は11月2日にかけて、東シナ海～日本の南をゆっくり北上する。また、台風から変わった温帯低気圧は、前線と一体化し2日夜には西日本に進み、前線が東日本にのびる。前線や低気圧に向かって、850hPa θe345K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。九州北部地方では1～2日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。西日本では2日にかけて、東日本と東北地方では2日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、風が強くなり、波が高くなりしけとなる所がある。西～東日本と東北地方では2日にかけて、強風やうねりを伴った高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ①雨量(06時からの24時間)：沖縄120mm。
- ②波浪(明日まで)：沖縄10、奄美4、関東・伊豆諸島・東海・近畿・四国・九州北部・九州南部3m。
- ③高潮(明日まで)：大潮の時期。南西諸島と西日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「台風第21号に関する情報(総合情報)」を5時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。